

〈資料1〉

令和2年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

令和3年3月11日(木)18時00分～
宇治市役所 6F 602会議室

目 次

1 令和2年度宇治市小中一貫教育中学校ブロック活動状況	… 1
2 令和2年度中学校ブロック年度総括票	
・宇治中学校ブロック	… 4
・北宇治中学校ブロック	… 5
・槇島中学校ブロック	… 6
・西小倉中学校ブロック	… 7
・西宇治中学校ブロック	… 8
・南宇治中学校ブロック	… 9
・宇治ひろの学園(広野中学校ブロック)	… 10
・東宇治中学校ブロック	… 11
・木幡中学校ブロック	… 12
・宇治黄檗学園(黄檗中学校ブロック)	… 13
3 令和2年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	… 14

令和2年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(1)

学校教育課

	◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 ○ ランゲージ・リーダー校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小中連携
1 宇治中B	◎「ふるさと学習」を奨励し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会（授業づくり部、人権教育部、児童生徒連絡部） □小学校教務主任 ◇【市英語】	○小中合同研修会（8月、11月、1月） ○人権教育研修（VTR視聴）	□中学校生徒会による中学校生活（動画）の作成・活用	○小中一貫教育校より（FUT）を発行	□「やましろ授業スタンダード」を活用 □宇治市「アクションプラン」において国語力の向上育成 ○宇治地域一学力調査の分析・活用	○分館道学校に配属した取組 ○中学校の定期テストについて小6児童対象に不安解消の取組 □コミュニケーション・スキル研究推進校（筑前小）
2 北宇治中B	◎「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」 ○3校校長連絡会 企画会議（校長、教頭、コーディネーター） 学力部（学力分析、授業改善、道徳、外国語（英語）、家庭学習、特別支援、教育相談担当、児童生徒支援） コーディネーター会議 □中学校教頭 □中学校教務主任 ◇【市英語・体育】	○北宇治中ブロック小中一貫教育協議会	□中学校生徒会による中学校生活（動画）の作成・活用	○「小中一貫教育ニュース」発行 ○地域連携企画・イベント	◇「家庭学習の手引き」を発行し、有効利用	○中入学前の「春休みの宿題」を改訂し、発行
3 模島中B	◎「豊かな人間性・たくましく生きる子どもを育てる」 ○「夢・未来」会議（校長、教頭、教務主任） ブロックの校長会議、教頭会議、コーディネーター会議（特別活動、生徒指導、特別支援教育、特別の教科連携、国語、授業作り） □中学校教務主任 ◇【市英語】	○合同研修会（8月、10月）	○古香回収の取組 □中学校生徒会による中学校生活（動画）の作成・活用 □小・中学生の生涯交流会 □児童会・生徒会の挨拶運動 □小中絵画巡回展	○小中一貫教育「マギシマ」の発行・HP掲載	□「やましろ授業スタンダード」を活用 □宇治市の「アクションプラン」において国語力の向上育成 □教職員対象広報紙活用等による授業づくり・学力感の共有	◇○各校の研究成果の交流による小中連携、小中連携の推進 □京都府小学校教育研究会研究協力校「道徳」研究協力校（北模島小）
4 西倉中B	◎「小中9年間を通して 地域と共に子ども達の豊かな心と能力を育む」 ○西倉小中ブロック小中一貫教育推進会議 （校長部会、教頭部会、コーディネーター部会） ○学力充実、向上部、生徒指導部、児童・生徒交流部、養育委員会 □小学校教務主任 ◇【市英語・体育】	○小中合同研究会（10月）	□あいさつ運動 □中学校生徒会による中学校生活（動画）の作成・活用	○「家庭学習の充実につなげる」 「家庭学習の手引き」 ○「家庭学習の手引き」やHPで発信 ○各校の「一貫教育コーナー」（掲示版）の充実	□「やましろ授業スタンダード」の活用 □いしずえ学習	◇定期テスト講座
5 西宇治中B	◎NIS目標「自立への喜びと社会性の育成を推進し心豊かにたくましく人間を育てる」 ○小中一貫教育推進会議 （ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会議） ○領域部会（学力充実、生徒指導、教育相談、特別支援教育） □小学校教務主任 ◇【市英語】	○合同研修会（6月、8月、10月）	○小6対象「中学校の学習」説明会（2月） □朝のあいさつ運動	○「地域・ネットワーク」 ○HP・各校掲示版で小中一貫教育の啓発	○効果のある宇治市方式を進めるアクションプランに基づき、国語力の育成 ◇「学習の手引き」を新学習指導要領に準拠し改訂	○「春休みの宿題」作成委員 □京都府小学校教育研究会研究協力校「健康安全」研究協力校（伊勢田）

令和2年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(2)

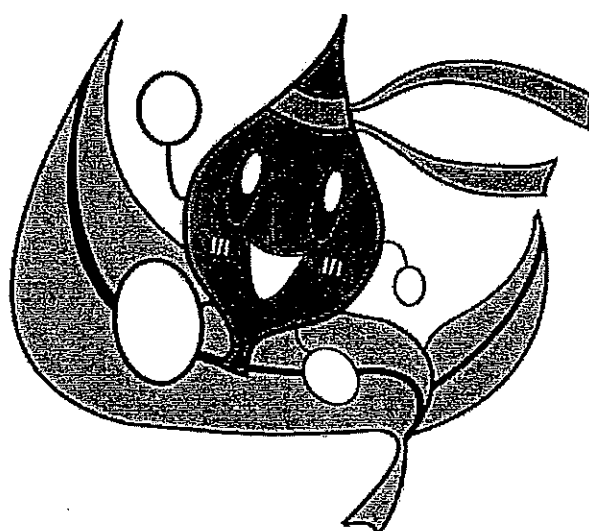
学校教育課

	◎ ブロック目標 □ 運営組織体制 □ ラーニングパートナー校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小中連携
6 南 学 治 中 B	◎「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」 ○学力充実部(授業づくり部、基礎基本の定着部) ○原簿生徒理解部(特活部、生指・教相部、特支部、 ○連携・支援部(養護・栄養部、事務部) □中学校教務主任 ◇【府・英語】	○担任・教科担当等による連絡 ○各校研修会で課題・取組等共有	○中学校生徒会による中学校生 活(動画)の作成・活用	○学校だより ○入学説明会 ○小中合同ほげんだよりの発行	○授業規律の共有 ○新入生対象の「春休みの課題」作成	○学校生活のきまりよりよい児 童生徒の姿を小中で共有 ○京都府「夢ひの進化プロジェクト」 ト実施校(南学治中) ○山城学校力向上トライアル校 (西大久保小 □コミュニティ・スクール研究推進 校(南学治中)
7 広 野 中 B	◎「夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○学校運営委員会(ブロック校長会)、教頭部会、事務局部会、 (コーディネーター部会)、学力部会、児童生徒理解部会、 児童生徒交流部会、その他の部会(小小学年部会) □中学校教務主任 ◇【府・数学】	○学治ひろの学園合同研修会(8月) ○紙面・資料による情報共有	○HOT-MEETING(3枚合同児童 生徒会) □福島ひまわり里親プロジェクト □中学生による小学生への紙芝 居の読み聞かせ	○あいざつ運動の実施 ○HOOP(学治ひろの学園)小中一 貫だより発行・HP掲載	○「学びの意欲を高める」ために3枚協議研究 でアンケート実施 ○「家庭学習の手引き」等改訂予定	○中学校定期テストへの不安程 度の取組 ○小中交流や連絡の充実(定期 的な情報交流)
8 東 宇 治 中 B	◎「命をかがやかせよう」 ○ブロック運営委員会(ブロック校長会議、ブロック教頭会 議、 コーディネーター会議) ○学力充実推進部会 ○研究授業部会 ○小学校教務主任 ◇【府・英語】	○各校研修会で課題・取組等共有	○中学校生徒会による中学校生 活(動画)の作成・活用 ○花魁ランディアによるプラン ター贈呈	○小中一貫教育便りの発行・各 校掲示 ○小中一貫教育リーフレット、中 学校だよりの配布	○ブロック児童生徒の学力分析 ○学治市「アクションプラン」において国語力の 向上育成 ○授業スタンダード(新学習指導要領版)の改 訂 ○「家庭学習の手引き(保存版)」の配付	○中学校からスクールライフサ ポートブックを小学6年に配付 ○先スタ(中学入学前の学習)を 小学6年に配付 ○定期テスト対策(小学6年) ○山城学校力向上トライアル校 (東学治中)
9 木 幡 中 B	◎「教頭ふるさとで夢や希望をばぐぐみ、未来を切り拓く児 童生徒」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、一貫教育推進委員会 ○教科部会(教科 連携会3領域(健康安全、学力充実、いしずえ、児童生徒 理解) □中学校教務 主任 ◇【府・英語】	○小中合同研修会(8月、11月) 講演会(理想)、教科部会連絡会	○中学校生徒会による中学校生 活(動画)の作成・活用	○中学校の「学校だより」生活だ よりを6年生に配布 ○小中一貫教育だよりを発行、 取組をHPに掲載 ○新入生保護者説明会	○「やましろ授業スタンダード」を活用 ○「4人組」を取り入れた授業づくり ○学びのある授業のモデル化 ○家庭学習の手引き	○6年生卒業後の春休み宿題(国 語・算数・英語) ○3校交流による小中連携 木幡小・笠取小・笠取第二小 御蔵山小・7笠取小・笠取第二小
10 黄 檗 中 B	◎「強い意志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く 人間を育成する」 ○小中一貫の組織を構成 □小学校教務主任	○年間を通じた合同研修	○黄檗ウォーク(1,9年生) ○OB&A(6,7年生) ○校制50周年(1~6年生)など異 学年集団活動 □学園会選挙.com開催	○育友会行事に積極的参加(清 掃活動) ○親のための進路セミナー開催	○学力テストの結果を受け、小学校段階での改 善案を検討 ○中学校でのテスト実施状況や課題点を調査 分析	○京都府「未来の担い手育成プロ グラム」研究校(黄檗中) ○コミュニティ・スクール研究推進 校

令和2年度

中学校ブロック毎 ジョイントプラン

小中一貫教育活動総括図



宇治市教育の日シンボルキャラクター：ハチャ君

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 宇治中学校ブロック | 6 南宇治中学校ブロック |
| 2 北宇治中学校ブロック | 7 広野中学校ブロック |
| 3 槇島中学校ブロック | 8 東宇治中学校ブロック |
| 4 西小倉中学校ブロック | 9 木幡中学校ブロック |
| 5 西宇治中学校ブロック | 10 黄檗中学校ブロック（施設一体型） |

令和3年3月

宇治市教育委員会

令和2年度 宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図

一宇治中・菟道小・菟道第二小一

教育目標・めざす子ども像

○ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざす子ども像

- ・ともに学び、考える児童生徒
- ・たくましく生きる児童生徒
- ・笑顔を大切にする児童生徒

本年度の目標・推進の方向性

- 小中9年間の一貫した学習指導・生徒指導を行い、「生きる力」の柱となる児童生徒の「確かな学力を育む。
- 児童生徒が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心を持って行動できる児童生徒の育成を図る。
- 小中学校教員による合同研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践力・人権意識の向上を図る。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・学力（国語力）の向上に向け、各教科部会において、授業研究会を実施し、感染対策防止策を講じた上で、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業交流・改善を進めた。
 - ・菟道小学校での同和問題に係る直接学習を多くの教員がビデオ参観できる機会を設定した。
 - ・養護教員部会では、中学校に進学する児童や中学校に進学した生徒についての交流を行った。
 - ・3年生まなびの一步チャレンジテストの分析を行い、現3年生のC層D層の割合を減少させるために各校コーディネーターが菟道小、菟道第二小3年生の授業参観、事前・事後研究会に参加し、授業改善を行った。
- 家庭や地域との連携
 - ・小中一貫教育校だより（FUTT）や学校だより等を積極的に活用しながら小中一貫の取組を紹介した。中学校教員が、中学校の「定期テスト」に対して不安感を持つ6年生児童に対して、どう取り組めばいいかといった話をする機会を設けた。
 - ・中学校の学校だよりを6年生全員に配付し、中学校の様子をよく知ってもらうとともに、各小学校の学校だよりを中学校の掲示板に掲示した。

本年度取り組むことができなかった計画について（簡条書き可）

- 小・中学校における授業参観をふまえての学力（国語）の向上に向けた研究。
- 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・交流の取組（クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習）
- 家庭や地域との連携
 - ・中学校教員が小学校に出向き、6年生保護者に対して行う「中学校準備講座」

本年度の成果と課題

- ・学力（特に国語力）の向上に向け、各教科部会において、実践交流シートを活用し、授業研究会を感染症防止対策を講じた上で実施し、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業交流・改善を進めた。
 - ・外部講師を招聘し、現状を踏まえての授業改善と評価の方法についての研修会を行った。
 - ・菟道小学校での同和問題に係る直接学習（社会科）では、ビデオ参観することができ、同和問題への理解を深めることができた。
 - ・養護教員部会では、より深い交流により、児童生徒への効果的な支援を行うことができた。
 - ・小学校6年生が中学校教員により「中学校での定期テスト」に対しての話を聞き、中学進学への不安解消につながった。
 - ・宇治市の「アクションプラン」を本ブロックの具体的な取組方策として学力充実を進めることができた。
- （課題）
- ・児童生徒の国語力の向上に向け、各教科部会において授業研究会を軸に授業改善を進めている。それをふまえ、各校で全教科部会の授業改善策の共通理解と情報の蓄積を行う必要がある。

次年度に向けて

- ・指導の一貫性と評価の方法について情報を共有していく。
- ・今年度、コーディネーターを中心に行った小学校3年生の国語の学力分析を次年度は小学校4年生を対象に行い、成果の検証を継続していく。
- ・積極的に外部講師等を招聘し、研修会を実施する。

令和2年度 北宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図
—北宇治中・小倉小・北小倉小—

教育目標・めざす子ども像

☆ブロック小中一貫教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」

☆めざす子ども像「・自ら考え、自発的に表現できる子（知）・人と地域のつながりの中で豊かな心を育て、他を大切に
切にする子（徳）・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）」

本年度の目標・推進の方向性

- (1) 小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。
・学力向上のための方策を研究する。（小中一貫の視点から、具体的方策を探り実践していく。）
- (2) 学力部・授業部を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。
- (3) 保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信する。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆中学校ブロックにおける系統的・継続的な学習指導に関わって

◎9年間を見通した学習指導を研究

①学力部各係会（日常的活動）…学力分析・家庭教育、授業改善、道徳、外国語（英語）、特支・教相、児童・生徒支援

②授業部（シーズンの活動）

☆生徒指導の充実に関わって（特支・教相係）（児童・生徒支援係）

- ・対象児童、生徒に対する有効な方策やアプローチの方法を示していく。
- ・小学校、中学校それぞれの児童、生徒の実態交流をより細かく行い、一貫して連携を図っていく。

☆中学区ブロックにおける特色ある教育活動の展開に関わって

①小中合同授業研究会の実施 ②学力の実態把握と分析 ③カリキュラム作成における連携 ④児童・生徒の交流

☆家庭・地域との連携に関わって

①小中一貫教育ニュースの発行…原則、学期に1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介

②家庭学習の取組…「家庭学習の手引き」※などを活用し、保護者の協力を得つつ、家庭学習の定着を図る。（※各校 HFP にも記載）

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・小中合同授業研究会が実施できなかった。（以下、新型コロナウイルス感染症との関係）
- ・学力部各係会における顧問と学校代表者との方針の打ち合わせができず、企画会議で一括して検討することになった。
- ・北小倉小・小倉小・北宇治中の教員による授業参観ができなかった。
- ・小6の半日体験入学や小学校における職場体験が実施できなかった。
- ・学期一回程度の小中一貫ニュースの発行が1回しかできなかった。
- ・第2回総会（総括）並びに小倉小参観を企画・設定したが、感染拡大を受け中止した。

本年度の成果と課題

- ・学力部各係会における年度当初の方針の確認が、企画会議において綿密に行えた。
- ・学力部各係会の実施回数が計画より減ることになってしまったが、各係会の昨年度からの引き継ぎや反省を受けて、発展的で熱心な討議を行うことができた。
- ・本年度は学力部係会を見直し、新たに児童・生徒支援係を創設したが、これにより、生指上の問題を抱える児童・生徒の課題や、不登校に陥っている児童・生徒の各校の実態やその要因がより一層明らかになり、学びに向かう姿勢の向上などの面から学力の向上につなげることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の関係で、年度当初の計画通りに活動できなかったことを踏まえて来年度につなげる必要がある。

次年度に向けて

- ・長年の継続的な取組において一定の積み重ねや成果があげられており、この流れを継続する中で、次年度以降も小中一貫教育を一層充実させていく必要がある。また、この中で、各学力テスト等において学力向上の成果を明らかにし9年間を見通した学習指導を進めていく必要がある。
- ・時間的や場所的な制約があり、教職員の働き方改革が行われている中で、小中一貫教育の在り方を抜本的に再構築していく視点も必要である。

令和2年度 榎島中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図

—榎島中・榎島小・北榎島小—

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

めざす子ども像

- 心身共に健康で、明るく活動する子
- 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
- 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

本年度の目標・推進の方向性

☆榎島中学校ブロック研究テーマ

「ふり返しを通して学びに向かう力を高め、基礎・基本の定着を進める」をテーマとした授業作り

☆推進の方向性

- 「夢・未来」会議を推進の要として、小中一貫教育の取組や各部の研究実践を推進する。
- LC による週一回の各校視察を通して、ブロックの児童・生徒理解に努め、目指すべき学力観を共有する。
- 榎島中学校ブロック校長会、教頭会、コーディネーター会議を定期的に実施する。
- 授業作り部会で授業スタイルを構築し、国語部会で宇治市アクションプランの具体的取組の交流・推進し、各部会で学級経営における生徒指導、道徳、特別活動、特別支援のペースを共有する。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

【「学力の充実・向上」に関わる取組について】

◎合同研修会の運営

- ・ 8/19(水)・26(水)…各校全体会（今年度の方針、学力向上プランの確認）
- ・ 10/16(金)…各部会での交流、課題の交流

⇒今年度、当初に榎島中学校ブロックの学力向上のイメージを図式化して、小中合同研修会で示した。

⇒そのイメージを基にした部会を編成して、それぞれの部会で学力向上に向けての議論を行った。

◎ラーニングコーディネーターによる取り組み

- ・ 小学校外国語授業の参観 ・ 週1回の各小学校訪問、授業参観、各校 CN との打ち合わせ
- ・ 小中一貫だより「マキシマム」、教職員広報をそれぞれ発行 ・ CN 会議の定期的開催

⇒各校 CN 間の連携を図り、ブロックの生徒理解、学力向上に努めた。

【その他の取組について】

◎小中絵画巡回展（中学校 11/16～、小学校 11/30～、榎島コミセン 1/12～1/22）

◎服のチカラプロジェクト（10～11月） ◎児童会・生徒会合同あいさつ運動（12/8・9）

◎小中主張交流会（3/2） ※事前に録画したものを交流

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- 中学生の職場体験 ○小学生の中学校体験入学 ○榎島小学校授業参観
- 北榎島小学校授業参観 ○榎島中学校ブロック PTA・育友会役員合同研修会

本年度の成果と課題

○学力向上のイメージを共有して、榎島中学校ブロック全体の学力向上を目指した授業改善を行っていく方向性を確認することができた。

○榎島中で取り組んできた振り返りの取り組みを各小学校と共有して、ブロック研究テーマに沿った授業作りをすすめた。

▲各部会を通して、情報共有はできたものの、学力向上につながる学級づくり・授業スタンダード作りまで内容を深めることができなかった。

次年度に向けて

- ・ 小中合同研修会で授業作りを行い、「事前研⇒授業研究⇒事後研」の流れを汲んだ研修会を行う。
- ・ 基礎学力の充実に向けて、共通した目標のもとに各小中学校で取組を進め、その成果を交流し、榎中ブロックの授業スタンダードを確立する。
- ・ 小中一貫だより「マキシマム」の年間発行数を増やし、研修会での内容のふり返しや保護者への情報の共有を図っていく。

令和2年度 西小倉中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図

ー西小倉中・西小倉小・南小倉小ー

教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の 豊かな心と 確かな学力を育む

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

目指す児童、生徒像をもっと具体化・焦点化するために、学力とともに生徒指導面（特に登校しぶりや不登校児童、生徒への対応）でも交流していく。

【推進の概要】

- ①教員の研究・研修を充実させるための取組
- ②家庭学習充実の取組とその発信
- ③各校の校務分掌を生かした協力体制

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・中学校ブロックの特色ある教育活動として教科連携加配(理科・図工・体育)や外国語専科教員による指導、そして小小連携として小学校高学年における教科担任制授業(音楽)を各校のコーディネーターと年度当初に調整を行い、推進した。
- ・家庭との連携として「家庭学習の手引き」の内容をコーディネーター間で確認後に配付し、宿題のみでなく自主学習の取組を家庭に向けて啓発した。
- ・様々な学習活動の場において、数年前に中学校ブロックの取組で作成したスタンプを活用した評価を行うことを、ラーニングコーディネーターと各校のコーディネーターで再度確認し、児童・生徒の達成感や自尊感情の向上につながるようにした。その活用状況についてもコーディネーター会議で確認した。
- ・今まで生徒指導部会であったが、今年度は学力充実部と特別活動部の各部会をコーディネーター間で計画し、部長のみでの開催であったが実施した。(特活部については3月に開催予定)
- ・コロナ禍ではあったが、西小倉中学校の協力を得て、中学校ブロック合同授業研を開催し、授業参観と事後研を行った。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・年度当初の総会及び夏季合同研修会を中止した。
- ・総会と研修会の中止に伴い、小中一貫だよりが通常通りに発行できなかった。
- ・全国学力テスト及び府学力テストの中止に伴い、中学校ブロックの学力状況を共有することができなかった。

本年度の成果と課題

本年度はコロナ禍におかれて、中学校ブロックにおける小中一貫教育の取組の多くに制限がかかる形となったが、今まで取り組んできた中学校ブロックの取組を再度確認し、その意義とともに取組の推進を各校に呼びかけることができた。また、西小倉中学校の協力を得ての小中合同授業研が開催でき、「道徳」という小中共通の教科を取り扱った内容は、各校の先生方にとって自校へ持ち帰るべき課題を明確にできたことが、成果であった。

各学力テストが中止となったことにより、各校の学力の状況を数値として共有することができなかったことは大きな課題であった。

次年度に向けて

- ・以前の研究で培った取組を維持するようにする。
- ・合同授業研についてはできるだけ共通理解できるような教科や視点を工夫する。
- ・各学力テストが実施できなかった場合に備えて、ブロック単位での共通テストや定期テストを活用するなどの工夫を考える。

令和2年度 西宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図
 ー西宇治中・伊勢田小・神明小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

N・I・S目標 「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざす子ども像

- 知「展開する力」：・深く考え、よく聴き、意欲的に表明する子
- 徳「つながる力」：・温かい心で助け合う子 ・節度をもった礼儀ある子
・違いを認め合える子
- 体「挑戦する力」：・ねばり強く諦めない子 ・基本的生活習慣や健康を配慮できる子

本年度の目標・推進の方向性

主体的・対話的で深い学び、及び進路を見据えた学力向上の取組

「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び新学習指導要領の実施のための各教科部会の充実と発展

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・6月、8月、10月の3回にわたって研修会を行った。
 - ・学力充実部会では、新学習指導要領に基づいた指導方法について実践を交えた交流を行った。
 - ・新学習指導要領の実施に伴い、「学習の手引き」の見直したものを各校に配付した。
- (2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・「『中学校の学習』説明会」を実施し、児童の小中格差に関わる不安を取り払い、スムーズに中学校生活へ移行できるよう支援した。「春休みの宿題」は今年度も統一したものを作成した。
 - ・毎学期、小中学校共同で「朝のあいさつ運動」に取り組み、児童会・生徒会相互の交流を深めた。
- (3) 家庭や地域との連携
 - ・小中一貫教育啓発掲示板の有効活用、各校学校だよりのブロック内交流、各校HP上の工夫等々を実現し、地域に発信し理解と支援を求めた。
 - ・地域と連携し、夏休みの「地域パトロール」を行った。
- (4) 中学校ブロック推進体制の充実
 - ・ブロック校長会をはじめ各会議を適宜開催し内容の充実を図るとともに、推進計画が円滑に遂行されるよう、各会及び各部との交流、連携に努めた。

本年度取り組むことができなかった計画について（簡条書き可）

- ・中2「職場体験学習」（5月）や駅伝合同練習、6年「中学校体験入学」の実施。
- ・各地域行事（夏祭りや左義長など）、西宇治オープンフェスタ、中学校オープンスクールなどが未実施のため参加できなかった。
- ・西宇治中ブロック推進会議では、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づく学力分析等を行うことができたが、三校の教員全体では、三密を避けるため行うことができなかった。

本年度の成果と課題

- ・新学習指導要領による、「主体的に学習に取り組む態度」についての評価の取り方を小中学校の教員で交流することで、効果的な手立てを各教科で学ぶことができた。
- ・「学力充実部」「教育相談・特別支援部」「生徒指導部」の3部会の組織で研修を進めたが、各校の取組等の交流に留まった。

次年度に向けて

- ・中学校ブロックとして「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づき、さらなる学力向上を見据え、学力に特化した取組の必要性がある。
- ・中学校ブロックとして9年間を見据えた学習に対する取組や授業でのルール等において共通したものを作成する必要がある。
- ・学校教育を取り巻くあらゆる変化や多様性に対し、地域全体で柔軟且つ適切に対応できるよう、小中間で積極的に交流し合い、情報の共有や協働を推進する。

令和2年度 南宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図

一南宇治中・西大久保小・平盛小一

教育目標・めざす子ども像

○ブロック小中一貫教育目標

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

○めざす子ども像

「夢や希望を持った、未来をたくましく生きぬく子ども」

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

学力向上に向けて、小中の交流を行い、授業や生活についての実践を共有していく。

【推進の概要】

- ・授業実践について、導入・展開・まとめ・振り返りなどについて共通理解を図る。
- ・事前事後研修を含む授業研究を行い、小中で共通して取り組める授業実践を見出す。
- ・児童生徒の交流の機会を見出す。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

「学校だより」・地域に学校だよりを配布し、実践の紹介や地域の課題を共有する。

「推進委員会」・ブロック校長会を踏まえ、推進委員会やコーディネーター会を実施し、小中の取組が充実できるよう計画する。

「授業連携」・教科連携教員の効果的な活用方法を検討する。・LCが定期的な小学校訪問を行う。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

「学力分析、授業改善」

- ・学力分析結果等から、具体的改善目標を精選し、設定した目標に向けて取組を検討する。・事前事後研修を含む授業研究を行い、小中で共通して取り組める授業実践を見出す。・授業規律の共有と家庭学習の取組を進める。・各校の状況を踏まえ、学校生活のきまりや、よりよい児童生徒の姿を小中で共有する。

「帰国生徒理解学習、生徒会・児童会による取組、中学校授業・部活動体験」

- ・両小学校で外国人児童理解学習を実施し、中国武術体験などを通して三校共通のグローバルな感覚を養う。
- ・生徒会・児童会での取組を実施し、ボランティア活動や挨拶運動などを継続させる。
- ・中学校での体験を行い、中学校進学への見通しを持たせる。

「小中一貫教育だより・家庭学習の手引き」

- ・小中一貫教育だよりを保護者へ配布する。
- ・家庭学習の手引きを配布し、家庭学習の大切さを示し、保護者とともに学力充実を目指す。

本年度の成果と課題

「成果」

- ・LCが小学校を参観する機会が増えた。・小中連携教師の授業について、授業内容の話を進めることができた。・入学説明会は、両小学校で行い、児童には、生徒会から中学校の生活についての動画を紹介し、保護者に向けては、中学校での学習を中心に話が進んだ。

「課題」

各校、行事の制限や取組の制限がある状況を踏まえ、その中でも効果のあるものは何か、内容を精選しできることを探っていく。・学力の充実・向上に向けては、現状の分析、実践、振り返りが必要である。そのため、三校の状況を知る機会を何とか設けていきたい。

次年度に向けて

状況が大きく変わることがないと考え、その中でもできることを、ブロック校長会をはじめ、コーディネーター会等で案を出していきたい。

例えば、通信技術を活用した授業参観の方法や各部会を持つことなど。



宇治ひろの学園 (広野中学校ブロック)

広野中学校
大久保小学校
大開小学校

< 教 育 目 標 > 夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成
< めざす児童生徒像 > 自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力
健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

今年度の重点目標

- ◎「学びの意欲を高める」ための3校協働研究
 - ・宇治ひろの学園の子どもたちの「学びの実態」についての調査分析と実態把握から「学習意欲」を切り口に学校教育の「児童生徒の学力向上（確かな学力）」への具体的アプローチを学年ごとに考える。
 - ・学年ごとに検討した実践内容をブロックで交流・協議し、さらに具体的な実践方法の構築につなげ、実践していく。
- 宇治ひろの学園小中一貫教育の円滑な運営及び推進
 - ・年間の計画（5月：総会 8月：合同研修会 3月：まとめ）
 - ・2小1中で協力した授業研究（小小連携、小中連携）
 - ・児童生徒の交流
 - ・小学校教員と中学校教員の交流の充実
 - ・各部会の取組の再確認と共通理解を深めることによる効果的な取組の推進
- 学力向上に向けての取組
 - ・宇治ひろの学園小小共通問題（算数）の作成・実施
 - ・中学校定期テスト不安軽減の取組（小学校6年生）
- 小小連携の充実
- 保護者、地域への情報発信と啓発の充実

今年度の取組

- ★教職員が交流・共同研究する取組
 - ・「学びの意欲を高める」ための3校協働研究
 - ・宇治ひろの学園研究会の開催（5月総会、8月合同研修）
 - ・小学校教員による小小交流の充実
 - ・小6の中学校体験学習への小学校教員の参加
 - ・中学校教員による小学校体験研修 他
- ★児童生徒が交流する取組
 - ・児童生徒主体のHOT-MEETING（3校合同児童生徒会）運営
 - ・HOT-STUDY（中学校新入生半日入学）
 - ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
 - ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他
- ★学力充実の取組
 - ・板書カード・授業システム・家庭学習の手引き
 - ・小学校高学年での「教科担当制」
 - ・宇治ひろの学園共通問題（算数）の実施 他
- ★保護者・地域と交流する取組
 - ・3校合同地域懇談会の開催
 - ・HOOP（宇治ひろの学園小中一貫教育だより）の児童・生徒への配付

本年度の成果

- 『「学びの意欲を高める」ための3校協働研究』について、ラーニングコーディネーターが中心となって、下記の取組を立案・運営していった。
 - ・アンケートの分析結果に基づき、学習意欲向上についての具体的方策を学年単位で検討した。
 - ・夏季合同研修にて学力向上に向けた具体的方策を小中教員で交流、2学期以降に実践した。
 - ・アンケート結果を比較・分析し、来年度以降の3校協働での取組内容について検討した。
- 教員間の交流
 - ・コーディネーター会議や各部会の調整・開催した。
- 児童生徒間の交流を目的として、下記の取組についてラーニングコーディネーターが中心となって企画・調整・運営を行った。
 - ・中学校1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせを実施し、交流した。
 - ・HOOTMEETINGを開催し、小学校児童会と中学校生徒会が交流する事業を実施した。
 - ・福島ひまわりプロジェクトを広野学園全体の取組として3校で実施。共通の取組を通じて交流できた。
- 保護者・地域との交流
 - ・HOOP（宇治ひろの学園小中一貫だより）の発行、学校だよりやホームページへの掲載をラーニングコーディネーターが実施してきた。
 - ・あいさつ運動を3校で同じ日に実施し、ひろの学園全体の活動として取り組むことができた。（本年度は1回のみ）

今年度取り組めなかった計画

- ・宇治ひろの学園研究会 5月総会
- ・HOT-STUDY（中学校新入生半日入学、小学校教員の参加）
- ・1学期、3学期のHOT-MEETING（3校合同児童生徒会）
- ・3校合同地域懇談会の開催

本年度の課題

- ・全教職員が集まっていたの研修会や報告会ができず、『「学びの意欲を高める」ための3校協働研』等の取組について十分な周知が難しかった。
- ・小6の中学校体験学習や部活動見学などが実施できなかった。HOT-MEETINGも1回しか開催できず、児童生徒の交流の機会が大幅に減ってしまった。
- ・福島ひまわりプロジェクトに継続して取り組んでいるがその目的や意義が学園全体で十分共有できていない。

次年度に向けて

- ・『「学びの意欲を高める」ための3校協働研究』について、来年度に向けて全職員に改めて分析結果等を周知し、3年目の取組を進め、成果につなげていきたい。
- ・今年度取り組めなかった内容について、来年度の実施に向けて内容を精選し、再整理しておく。
- ・担当外の活動目的や内容を共有し、ひろの学園の教職員全体としてより組織的に活動できるようにする。
- ・一部の児童生徒だけの交流ではなく、ひろの学園全体としての交流が意識できるような取組をしていく。
- ・ラーニングコーディネーターが中心となって情報を発信し、活動内容の共有化を図る。

教育目標

めざす児童・生徒像

「命をかがやかす人間」

「自ら学び学習する児童・生徒」

「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」

「健康や安全を考える児童・生徒」

本年度の目標・取組の方向性

これまでの小中連携や小中一貫教育の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、義務教育9年間で、生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する。その中で、本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。

本年度の取組

- 授業スタンダード（新型コロナウイルス感染防止に配慮した改訂版）の積極的活用
- アクションプランに関わる質問紙指標結果を踏まえた、各校での学力充実・向上に向けた取組の推進
- 定期テスト対策授業（小学6年）※ラーニングコーディネータによる指導
- 小学6年生の中学校体験入学に代わる映像視聴
- 小中連携教員による外国語活動指導（小学6年）
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 小中一貫教育便りの発行
- 小中一貫教育コーナー（掲示板）の設置
- スクールライフサポートブック配付（小学6年）
- 「家庭学習の手引き」（保存版）の配付
- 中学校学校便りを小学6年生に配付
- 小中一貫教育リーフレットの配付（小学1年・転入生）
- 先スタ（中学入学前の学習）の配付（小学6年）

本年度取り組むことができなかった計画

- 小中合同研修会（年間3回）
- 相互授業参観（小学校から中学校授業参観・中学校から小学校授業参観）
- 3小合同研修会＋合同学年会
- 「学力充実推進部会」の開催
- 小学6年生の中学校体験入学
- 中学生の美術作品巡回展示
- 小中合同研究授業（会場：岡屋小）
- 小中連絡会
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援
- 中学2年生の小学校での職場体験
- 地域行事での交流

成果と課題

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業や授業回復のための教育計画の再編、感染拡大防止に配慮した学校の新しい生活様式の中で、当初計画した取組の多くが中止・変更を余儀なくされた。特に柱となる小中合同研修会や合同研究授業を中心とした研究を進めることができなかった。
- 「東宇治中ブロック 授業スタンダード（新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して一部改訂）」を提示し、3小1中で日常の指導に生かし、本ブロック児童・生徒の生きて働く学力定着を支えることができた。
- 宇治市で実施したアクションプランに関わる質問紙指標の結果をまとめたり、各校のアクションプランに関わる取組を交流したりすることで、各校の学力充実・向上の取組に反映させることができた。
- 学力の基盤となる主体的態度を高める視点で、児童・生徒交流や地域・家庭連携の取組を展開し、その取組を広めるための情報発信を積極的に進めた。（小中一貫教育だより年間3号※HP掲載・教職員広報年間3号）

次年度に向けて

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した研究計画を今年度中に立案し、4月以降の状況に対応しながら、学校の新しい生活様式の中での研究の在り方を追究する。
- アクションプランの指標についてブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」と関連させた研究や取組を展開する。その中で「義務教育9年間の系統的・統一的な指導で確かな学力と生きる力を身に付ける」という小中一貫教育の基本を大切に、これまでの成果と課題を踏まえた改善・工夫を図る。
- 新学習指導要領を踏まえた学力観や評価について、小小・小中で研修を深め、系統的・統一的指導の充実を図る。

令和2年度 木幡中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図
一木幡中・御蔵山小・木幡小・笠取小・笠取第二小

教育目標・めざす子ども像

教育目標	故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒
めざす子ども像	①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知） ②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳） ③健やかな心と体をもった児童・生徒（体） ④ちがいを認め、命を大切にする児童・生徒（人権） ⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にする児童・生徒（地域）

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

・学力向上のための主体的で対話的な授業づくりに結びつく研修を木幡中ブロック全体で行う。

【推進の方向性（重点）】

- ・3回の小中合同研修会での教科部会と連絡会を通して小中の系統的、継続的な連携を深める。
- ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
- ・各校のホームページを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・深い学びのある対話的な授業づくりについて。（第3回小中合同研修会）
- ・中学校英語教員による小学校での授業の実施。LCによる小学校訪問。
- ・小中合同研修会の連絡会を通して児童生徒の共通理解を図る。（11/4）
- ・小中学校における特別支援教育の視点を大切にしたい生徒指導についての講演。（8/21 後野文雄先生：特別支援教育士スーパーバイザー）※小学校には、当日のビデオを回覧。
- ・小学6年生の半日体験入学。（11/7）→小学校に中学校の紹介ビデオとメッセージを送った。
- ・新入生保護者説明会の実施。
- ・小中連絡会（6月、11月、2月3月）
- ・木幡中生徒の美術作品を小学校作品展に展示。（2/9,10）
- ・ホームページに小中一貫教育の取組をアップし取組の啓発を図る。
- ・各校の学校だよりの校内掲示。
- ・6年生への春休みの課題。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ①小中合同研修会→（第1回中止、第2回分散会は中止、第3回公開授業は中止）
- ②小学6年生の半日体験入学。→（見直し）
- ③おもろいやんか木幡→（中止）
- ④小学校の懇談会で「中学校における進路指導」の説明会を実施。→（中止）

本年度の成果と課題

（成果）

- ①小中合同研修会は1回しか持てなかったが、「対話的活動を深める授業づくりについて」と「新学習指導要領における評価、評定について」の2つを柱に交流を深めることができた。
- ②特別支援教育の視点を大切にしたい生徒指導についての講演を継続して行うことができた。
- ③LCと各小学校のコーディネーターを中心に小中一貫教育に関わる取組の推進が図れた。

（課題）

- ①コロナの影響で計画していた取組の多くが実施できなかった。
- ②学力充実に向けて、目標設定シートを通してブロックの教職員の共通理解が必要である。（効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン）
- ③啓蒙活動の一環としてHPの更なる活用が必要である。

次年度に向けて

- ①研究授業の持ち方については、各教科部会の意向をふまえて検討していく。
- ②夏の小中合同研修会での「特別支援教育についての講演」は継続して行う。
- ③府学力テストの分析について「学力・いしずえ」連絡会で確認し、各校で活用する形をとる。（夏の小中合同研修会で、講演と分散会の時間を確保するため）
- ④小中合同研修会で教育相談担当者による小中交流の場を確保すること。

教育目標・めざす子ども像

たかく すずしく たくましく

- ①高い志を持って、学びの道を究める人(質の高い学力)
- ②さわやかな心、優しい心を持った人(豊かな人間性・社会性)
- ③強い志を持って、人生を切り開く人(意欲や情熱・健康な体)

本年度の目標・推進の方向性

主体的・対話的で深い学びによる質の高い学力の育成

～指導と評価の一体化を図る授業を目指して～

- ・指導と評価の一体化を図る研修
- ・学力調査の結果を分析することによる指導改善
- ・主体的な学習にするための取組

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆9年間の系統的な学習指導

- ・全ての教科を通じて「主体的・対話的で深い学び」を大切にする授業づくりを行う。

☆9年間の継続的な生徒指導

- ・9年間の継続的な生徒指導を進めるため。
- ・課題を小中で共有化し、規範意識の確立と自尊感情を育む。

☆9年間を通した学園会活動

- ・共に学び、共に活動できる児童生徒の育成を目指して、異年齢集団活動を実施する。
- ・児童会、生徒会を学園会として組織し、小学生、中学生という枠を超えた学園の一員であるという意識を育む。

☆家庭・地域との連携

- ・「学年だより」「きずな」「ホームページ」等を活用し、学園全体の取組を積極的に伝える。
- ・親のための進路説明会を開催する。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・異年齢集団での取組
- ・小中合同での学園会行事
- ・学力調査の分析

本年度の成果と課題

- ・生徒指導部、教育相談部と連携し、児童生徒の実態把握をし、改善につなげることができた。
- ・小学校では新学習指導要領実施に伴う、「指導と評価の一体化」を中心とした研修、中学校では新学習指導要領実施に向けての研修が実施できた。

次年度に向けて

- ・主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりについて、継続して研修を推進する。
- ・小中で一つの組織と考え、打ち合わせ・職員会議・研修会を小中合同で行う。その中で、適切な小中一貫教育推進のために、教職員の情報交換と意思統一を確実にし、随時、計画や取組についての点検を行う。
- ・学力調査の分析を小中連携で行い、課題がどこに起因するのか明らかにし、克服する方策を示す。

令和2年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 令和2年度の活動計画

(1) 年2回の協議会を開催予定

①第1回協議会 7月16日(木)

②第2回協議会 2～3月開催予定[年度末進行管理]

※本協議会は必要に応じて会長が招集する。(本協議会設置要項第6条)

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。(2学期予定)

- ・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。
- ・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。

(管理職や小中一貫教育コーディネーター等が対応)

3 令和2年度の活動報告

(1) 協議会の開催

①第1回協議会 7月16日(木)

②第2回協議会 3月11日(木)

(2) 取組の視察

	日 付	中学校ブロック 【視察校】	取組内容	視察委員
①	10月19日(月)	西宇治中ブロック 【神明小学校】	第3回N I S 合同研修会	市橋委員
②	10月22日(木)	西小倉中ブロック 【西小倉中学校】	小中合同授業研究会	瀧尻委員 海老瀬委員
③	10月23日(金)	広野中ブロック 【広野中学校】	新入生保護者説明会	榊原会長 内田委員
④	11月6日(金)	北宇治中ブロック 【北宇治中学校】	北宇治中ブロック小中一貫 教育第1回総会・係会	榊原会長 薮委員 丸尾委員
⑤	11月12日(木)	黄檗中ブロック 【黄檗中学校】	学園会本部役員選出選挙	朝倉委員 井戸本委員

※○中学校ブロックの取組視察を実施

※各ブロック児童生徒間交流の中止

※委員視察時に、視察ブロック関係者と意見交流や協議を実施

4 宇治市小中一貫教育に係る視察状況 0件